

マンガと戦争展

6つの視点と3人の原画から MANGA AND WAR

2016

2.11 [THU] - 6.5 [SUN]

明治大学 米沢嘉博記念図書館

●開館時間

月・金 14:00-20:00

土・日・祝 12:00-18:00

休館日：毎週火・水・木曜日（祝日は開館）

※特別整理日などで休館する場合があります。

当館HPで確認、または開館日時に電話にてお問い合わせください。http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/

●入場無料

●主催：明治大学 米沢嘉博記念図書館

〒101-8301 東京都千代田区猿楽町1-7-1

TEL:03-3296-4554

●監修：呉智英（評論家／京都国際マンガミュージアム研究顧問）

吉村和真（京都精華大学マンガ学部教授）

●協力：京都国際マンガミュージアム／

京都精華大学国際マンガ研究センター

展示紹介

「戦争」はどのように描かれてきたか。

2015年夏、戦後70年の節目を迎え、京都国際マンガミュージアムで開催された、戦争についての展示を巡回します。

「戦争マンガ」を、6つの視点で選ばれた24の作品とその背景を解説するパート。新しい視点と表現で「戦争マンガ」を描いている3人の作家この史代・おざわゆき・今日マチ子の原画を展示するパート。さらに、西島大介の原画を、当館オリジナル「+α（プラスアルファ）」のパートとして追加展示します。それらを紹介することで、戦争と戦後を再び考えるためのひとつの視点を提示します。

●6つの視点

【原爆】【特攻】【満州】【沖縄】【戦中派の声】【マンガの役割】6つのテーマを4象限に分け、24の「戦争マンガ」を、パネルと関連資料で紹介しします。ひとつのテーマのなかにさまざまなベクトルをもつ作品が作られてきたことを示すことで、マンガによって、「戦争」を考える視点が多様に提出されていることを知ることができます。

●3人の原画から

〈いま・ここ〉でこそその視点や表現と、普遍性を併せもった新しい「戦争マンガ」を発表している、3人の作家の作品原画を展示します。

●+αの原画

〈いま・ここ〉でこそその作品として、戦争マンガと戦闘マンガのあいだを進む1人の作家の作品原画を追加展示します。

●原画を出展する作家たちは、

会期を4期にわけそれぞれ展示します。

この史代：「桜の国」「この世界の片隅に」
第1期：2016年2月11日（木・祝）～3月7日（月）

おざわゆき：「凍りの掌」「あとかたの街」
第2期：3月11日（金）～4月11日（月）

今日マチ子：「cocoon」「いちご戦争」
第3期：4月15日（金）～5月9日（月）

西島大介：「ディエンビエンフー」
第4期：5月13日（金）～6月5日（日）



この史代



おざわゆき



今日マチ子



西島大介

■関連イベント

1. 吉村和真、宮本大人トークイベント：「戦争マンガ」の役割とは（仮）

出演：吉村和真（京都精華大学マンガ学部教授）

宮本大人（明治大学国際日本学部准教授）

日時：2016年3月18日（金）

2. おざわゆき（マンガ家）、この史代（マンガ家）トークイベント

場所：明治大学 駿河台キャンパス

日時：2016年4月16日（土）16:00-17:30

料金：無料

3. 西島大介（マンガ家、イラストレーター他）トークイベント

日時：2016年5月（予定）

司会：宮本大人（明治大学国際日本学部准教授）

1、3 イベント場所：

明治大学 米沢嘉博記念図書館2階閲覧室

料金：無料

※会員登録料金（1日会員300円～）が別途必要です。

※どのイベントも、会場が混み合う場合、入場をお断りすることがあります。ご了承ください。

※会場・日時等は決まり次第当館HPおよびツイッターにて告知します。

